

新生涌谷中学校

始動

わくや

広報

2015

5

No.718



168年の歴史に幕。

少子化による生徒数の減少を背景に、子どもたちのよりよい教育環境づくりのため、学校規模の適正化を図る取り組みとして、涌谷町唯一の「新生涌谷中学校」の開校に向け、篁岳中学校と涌谷中学校が閉校されました。

地域とともに歩み、支えられ、そして、地域から愛され続けた両中学校の閉校式は、その歴史と伝統の重みを感じるにふさわしい式典となりました。

篁岳中学校の閉校式には、生徒62名と保護者や卒業生、地域の方々も出席し、約500名が出席。式後、PTAが3ヶ月かけて手作りで制作した篁岳中学校の歴史を80分にまとめた映像が上映されました。そして、生徒からは、これまでお世話になった方々の健勝を祈念した校歌のエールが送られました。

涌谷中学校の閉校式には、生徒402名と保護者や卒業生など、約580名が出席。式後に、全日本アンサンブルコンサート東北大会で金賞に輝いた金管八重奏により、はなむけの曲が奏でられました。



列席者へ感謝のエール



80分におよぶ大作映像



鈴木校長が校旗を返納

特集 新たな時代の幕開け 中学校の閉校と開校

この春、ふたつの歴史が幕を閉じ、ひとつの新たな歴史が始まりました。



忽那校長が校旗を返納



「HAPPY 涌中」版を上映



美しい金色の音色

新生涌谷中学校いよいよ開校



新たな校章をまとった学び舎



地域の善意が詰まった7,700個の餅まき



4つの小学校から集まった新入生



これからの時代を共に紡いでいく新たな校旗を授与

平成27年4月5日(日)に行われた開校式において、笠間教育長が開校を宣言しました。合わせて式において、安部町長から忽那校長に新しい校章が刺繍された校旗が授与されました。

「大崎の雄の2校が統合し新生涌谷中学校となることで、県下および全国に誇れる中学校が誕生。数年後に卒業する後輩たちに『この学び舎で青春の3年間を過ごせたことが私たちの誇りです』と言ってもらえる中学校にしたい」。生徒代表の熊谷陽希くん(3年生)の生徒代表の言葉からは、新生涌谷中学校の栄光の未来が感じられました。

また、4月8日(水)には、初めての入学式が行われ、新たな制服に身を包んだ新入学生138名が新生涌谷中学校の門をくぐりました。「美しい桜として黄金色に輝いてみせます」。新入生代表の誓いの言葉にも、新時代を築いていくことへの決意が表れていました。

疑問3：新生涌谷中学校の校歌は？

回答3：統合推進委員会と教育委員会で審議した結果、旧涌谷中学校の校歌を使用することになりました。

校歌

作詞 三澤 房太郎
作曲 熊田 為宏

一、黄金花咲く 小田の里
伝えも遠き 城趾の丘の
江合の流れ 水清く
文化の恵み ゆかしくも
今仰ぎみる 我が母校

二、栄枯いくたひ 花の雲
鼓棧ひとつを 残せども
古き学燈 あわせつぎ
どわの姿の 麓岳に
自主剛健の 意気高く
今育ちゆく 我が母校

三、朝風清く まゆあけて
船形仰ぐ 血の辺や
若き希望に 胸を張り
心ゆたかく 身をきたえ
愛と平和を ひとすじに
今進みゆく 我が母校

寄贈 昭和六十一年三月
第三十九回卒業生

下記のQRコードから涌谷中学校と笠岳中学校の校歌(YouTube)を聞くことができます。



涌谷中学校
校歌



笠岳中学校
校歌

疑問4：新生涌谷中学校の生徒数は？

回答4：新入生を含め459人です。

疑問5：新生涌谷中学校の校訓は？

回答5：校歌の歌詞にもある「自主剛健」。



疑問6：笠岳地区の生徒の通学方法は？

回答6：スクールバスが運行されています。



生徒の居住地域ごとに、5路線に分かれて運行。

閉校・統合・開校思いを聞く

閉校と統合、開校を経験した生徒二人に、開校式後、それぞれの思いを聞きました。

—まず、2校の閉校について、どんな思いですか？

68年間、先輩たちが築き上げたものがリセットしてしまうことに対してさみしいという気持ちしかありません。

—できることなら、それぞれの場所で卒業を迎えたかった。

ただ、一緒になりたい気持ちも

あったし、一から歴史や伝統を創

り上げていくことも楽しみです。

—どんな涌谷中学校にしたい？

地域に誇れる学校にしたい。個人

個人の個性が輝き、合わさることで中学校としての個性の

ある魅力ある学校にしたい。虹色の涌谷中学校という感じ。

—そして、涌中が地域をまきこみ、涌谷を活性化させていきたい。

—そのためには、どんなことが必要だと思いますか？

一人ひとりが地域貢献活動など、思ったことを進んで行動を起こす。

—旧涌中生と旧篁中生は、もう馴染んでいますか？

開校に向けた職場体験などの交流事業や部活動の合同チームを通じて親しくな

る機会があったので、友達として過ごせています。ただ、篁中の生徒の方が、覚

える人が多くて大変です(笑)

—涌谷を活性化させるために、何か考えはありますか？

涌谷に唯一の中学校として、地域貢献を積極的にしていきたい。

—そして、涌谷に唯一の中

学校だからこそ多くの人の関心

をもってもらえるような参加型

のイベントをやってみたい。

—最後に、新生涌谷中学校の

開校にあたっての抱負を聞かせてください。

「浅野」開校したばかりの中学校の基礎をしっかりと築きたい

「熊谷」地域に誇れる涌中から、町を活性化させていきたい。

二人の言葉からは、中学校の大いなる飛躍と町の明るい展望が感じられました。



旧涌谷中学校3年 熊谷陽希くん (9の2区)

旧篁岳中学校3年 浅野風都くん (吉住区)

新生涌谷中学校のあれやこれ

この春開校された新生涌谷中学校に対する素朴な疑問を解決します。

疑問1：新生涌谷中学校の制服は？

回答1：女子の制服が一新。涌谷の「W」と「桜」のロゴを刺繍。



男子は学生服のまま。

疑問2：新生涌谷中学校の校章は？

回答2：両校の生徒の思いがこめられたデザインに一新。



両校の生徒と統合推進委員会の意見や思いをもとに原案が作成され、左のデザインに決定。町花の「桜(金色)」に、篁岳を連想させる「竹(緑)」を配し、涌谷町唯一の中学校であることが一目瞭然とわかるよう、「涌中(黒)」と書かれた校章。※()内は配色。

特集

写真で見る
涌谷の

春



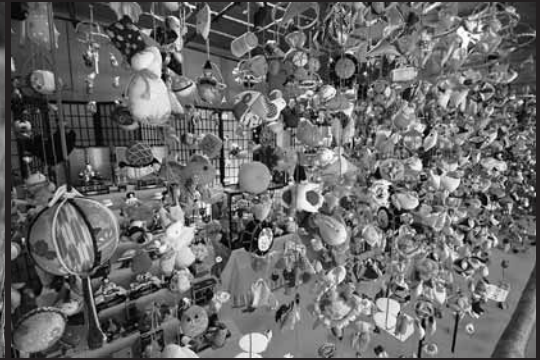
やっぱり涌谷は、
春とともに生きるまち。

今年も、「春とともに
生きるまち涌谷」に春が
訪れました。

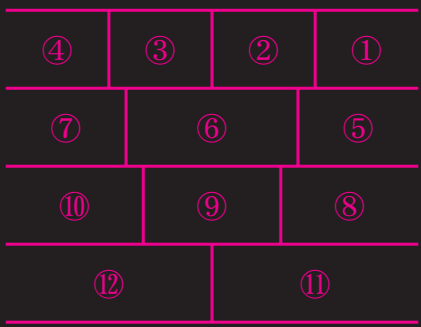
4月3日(金)に開花宣
言をした桜も、4月19日
(日)に開催された「第65
回東北輓馬競技大会」ま
で美しい姿を保ち、訪れ
た2万7千人の観衆を
「人馬一体」の勇姿とと
もに魅了しました。

また、友好交流協定を
結んでいる山形県大石田
町の方々が、町制施行60
周年事業として「東北輓
馬競技大会」当日涌谷町
に訪れ、春の涌谷町を満
喫していただきました。

恒例の「夜桜ライトアップ」や「よみがえった桜
回廊」のほか、笹岳山に
も「かたくり」「つるし
びな」「水芭蕉」といつ
た3つの美しい花々が開
花し、多くの観光客に
「春とともに生きるまち
涌谷」を実感させたこと
でしょう。



①愛らしさも兼ね備えたポニーの轡馬競争②「城山の金さん」と「むすび丸」と記念撮影③未来の畜主さんに表彰状④時にはデッドヒートに⑤華やかな衣装をまとったお稚児さんたちの古式獅子舞⑥轡馬大会に遠くお越しにいただいた大石町の方々⑦桜が散った後、夜空に咲いた大輪の花火⑧雨粒に濡れるかたくりは一層可れん⑨2千5百体のつるしびな飾りが空間を埋め尽くす⑩町民有志によって守られ美しく咲いた水芭蕉⑪夜空に、水面に美しく映える夜桜ライトアップ⑫美しくどこまでも続くように感じさせる「よみがえった桜回廊」



写真解説



写真前列中) 感謝状を受けた柴村洋子さん

東北管区行政評価局長から 行政相談委員の柴村洋子さんに感謝状

4月14日(火)に、東北管区行政評価局長から柴村洋子さんに対し、行政相談委員として2年間行政相談制度の発展に寄与された功績から感謝状が贈られました。
2年間のお勤めいただいたことに感謝いたします。



写真右) 感謝状を受けた熊谷会長

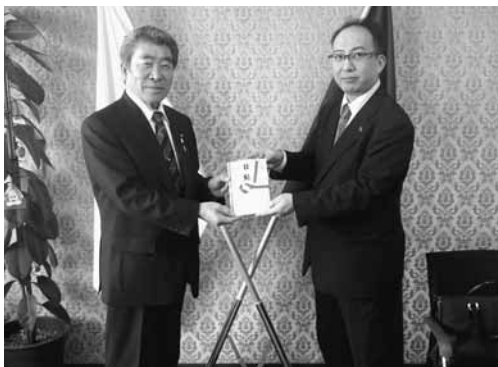
遠田消防署長から 涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会に感謝状

3月7日(土)に、遠田消防署長から涌谷町婦人防火交通安全クラブ連合会に対し、平成26年の一年間の無火災地域推進に貢献された功績から感謝状が贈られました。
今後も地域の防災意識の高揚にご協力をお願いします。

4月1日(水)に、涌谷町HAMクラブが、涌谷町の町制施行60周年を記念し特別局を開局し、涌谷町をPRする取り組みを開始しました。
この取り組みは、平成27年12月末まで行われ、交信した相手局には交信証明書(QSL)を送付するというものです。2千枚のQSLが用意されており、全世界に向けた涌谷町のPRが期待されます。



町制60周年記念 涌谷町HAMクラブが 特別局を開局



写真右) 目録を贈呈する涌谷工場的小林総務課長

アルプス電気株式会社から 涌谷公民館にテレビ等を寄贈

3月30日(月)に、アルプス電気株式会社から涌谷公民館新築の記念として、涌谷工場的小林総務課長が来町され、60型大型テレビやブルーレイレコーダー等が寄贈されました。
寄贈された機材は、公民館の視聴覚コーナーに設置を予定しています。



写真右) 感謝状を贈呈される各事業所の皆さま

日本赤十字社宮城県支部長から 日本赤十字社献血関係功労者(団体)に感謝状

昨年11月1日(土)に、多年にわたり献血推進事業にご協力いただいたているアルプス電気涌谷工場、イオンスーパーセンター涌谷店、メイジ宮城工場、ヨークベニマル涌谷店、涌谷自動車学校に、日本赤十字社宮城県支部長から感謝状が贈呈されました。